

人権

あなたと私を考える

あなたと私の大切さに違いがあるだろうか？

インビクタス 負けざる者たち



監督／クリント・イストウッド
出演／モーガン・フリーマン マット・デイモン
公開：1年2月／アメリカ／2時間14分

ネルソン・マンデラ大統領の不屈の魂を描く、真実の物語

長い間、人種隔離政策に苦しんだ南アフリカ共和国。選挙により投獄生活から解放されたネルソン・マンデラ大統領が就任する。しかし、人種差別や貧困、暴力はなかなかなくなる。マンデラは「憎しみを捨て、かつての敵を赦そう。赦しは魂を解放する」と白人に人気がある代表チーム、スプリングボクスを希望の象徴とする。

文部科学省選定作品

海洋天堂



監督・脚本／シュエ・シャルー
出演／ジェット・リー ウェン・ジャン
公開：10年7月／中国／1時間38分

自閉症の一人息子と共に歩むいとのおしき日々。

中国のある水族館で、設備技師として働くシンチョンにとって、21歳になった自閉症の息子ターフは、かけがいのない一人息子。けれど、ターフが7歳の時に妻は死亡。今度はシンチョン自身が末期の肝臓ガンに侵され、余命幾ばくもないと知る。シンチョンは、自分の亡き後のターフの世話をしてくれる施設を見つけるが、シンチョンにはまだ息子に伝えるべきことが残されていた。

文部科学省選定作品

ウィニング・パス



監督／中田新一
出演／松山ケンイチ 佐藤めぐみ 堀北真希
公開：2003年／日本／1時間48分

失うことで、僕は手に入れた生きることの本当の意味を

アジアでは初となる世界車椅子バスケットボール選手権大会“ゴールドカップ”開催地の福岡県北九州市を舞台に、『ドン松五郎の生活』の中田新一監督が、車椅子バスケットに情熱を注ぐひとりの若者を描いた青春群像ドラマ。交通事故で下半身不随になってしまった高校生が、周囲の人々に支えられつつ、生きる希望を取り戻していくまでの姿を爽やかなタッチで綴る。

文部科学省特別選定作品

青い鳥



監督／中西健二 原作／重松清
出演／阿部寛 本郷奏多 伊藤歩
公開：08年11月／日本／1時間45分

大人は、みんな、十四歳だった。

ある中学校でいじめられていた生徒が自殺未遂をし、転校する。そのクラスに吃音の教師村内が着任する。その生徒の机と椅子を元に戻し、その席に声をかけ続ける村内の姿に生徒たちはとまどう。やがて、それぞれが自分の言動とその責任について改めて本気で考えるようになる。

いじめ問題を真正面に、人の気持ちを想像することの大切さを描写した作品。

アメイジング・グレイス



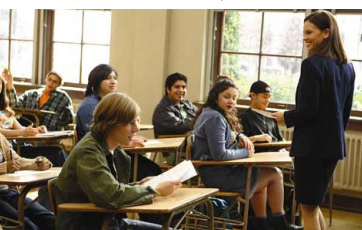
監督／マイケル・アブテッド
出演／ヨアン・グリフィズ ロモラ・ガライ
公開：11年4月／イギリス／1時間58分

奇跡の歌が紡ぎ出す、知られざる愛と真実の物語

18世紀のイギリス、青年政治家ウィルバーフォースは、イギリスの主たる収入源になっていた奴隷貿易に心を痛めていた。この現状を打ち破るべく、無謀と思える闘いに立ち上がる。妻バーバラや仲間に支えながら活動を続けるが、苦戦を強いられる。彼を支え続けたのは名曲「アメイジング・グレイス」。不屈の精神、夫婦の愛、そして美しい旋律が奇跡を起こす…。

文部科学省選定作品

フリーダム・ライターズ



監督／リチャード・ラグラヴェネーズ
出演／ヒラリー・スワンク スコット・グレン
公開：07年7月／アメリカ／2時間3分

あふれる涙を勇気に変えて今からは違う自分に。

1994年ロサンゼルス郊外の人種が激しく対立する公立高校。15歳にして出口の無い日々を送る生徒たち。新任のエリン教師は彼らを信じ、お互いを知ろうともせず憎しみ合うだけの生徒たち全員にノートを渡し、自分の気持ちを書くように諭す。想いを綴ることは自分と向き合うこと一次第に荒れた教室に変化が生まれる…。

ヘルプ 心がつなぐストーリー



監督／テイト・テイラー
出演／エマ・ストーン エイリ・クラーク
公開：12年4月／アメリカ／2時間26分

いまを生きる全ての人に贈る、勇気と感動の物語

公民権運動が活発化する1960年代のアメリカ南部。スキーターは新聞社で家事のコツを教えるコラムの代筆を担当する。家事の知識に乏しいため、友人の家で働く黒人のメイド・エリナに助けを求める。やがて取材を続けるうちに、黒人のメイドたちが自由のない時代にさまざまな苦しみを抱えて生きていることを知る。彼女は黒人メイドたちの真実を本にまとめようとするが…。

文部科学省特別選定作品

ヘレンケラーを知っていますか



監督／中山節夫
出演／小林綾子 登坂純光 鈴木重輝
公開：07年3月／日本／1時間45分

鈴と小鳥と、それから私、みんながって、みんないい

盲ろうという大きなハンディをもつ絹子のもとに、リストカットを繰り返す少年佑介が偶然やってくる。佑介は前を向いて生きている彼女の姿に触れ、次第に自分を見つめ直していく。そして長い間、他人に心を閉ざしていた絹子も少しずつ変わりはじめる…。他社との違いを認めながら自分らしく生きる大切さを描く。

文部科学省選定作品

おにいちゃんのハナビ



監督／国本雅弘
出演／高良健吾 谷村美月 宮崎美子
公開：10年9月／日本／1時間59分

この花火をずっと楽しみにしていた、天国の妹へ。

5年前、須藤一家は白血病を患う長女・華の療養のために新潟県に引っ越してきた。半年間の入院生活を終えた華は、兄の太郎が部屋に引きこもっていることを聞かされる。華は花火大会を主催する成人会に兄を参加させようと、無理やり太郎を外に連れ出すことにするが…。

健気な妹が夢見ていた花火を兄が打ち上げる。

文部科学省特別選定作品

未来を写した子どもたち



監督／ロス・カウフマン
出演／カルカッタの子どもたち
公開：07年6月／アメリカ／1時間25分

自分たちに無限の未来 と希望がある事を知る

インド・カルカッタの売春窟で暮らす子供たちに、女性写真家ザナブリスキは「子どもたちをここから救い出したい」とインスタントカメラを与える。子供たちはカメラで自分を表現することを知り、閉ざされていた心を解放していく。そして学校に行くチャンスを得て将来の夢について語り出す…。希望に満ち溢れたドキュメンタリー作品。

文部科学省特別選定作品

ウォー・ダンス 響け僕らの鼓動



脚本／ショーン・ファイン
公開：09年12月／アメリカ／1時間47分

紛争で全てを失った子供たち。 希望を与えたのは音楽と踊り

過去20年に渡って反政府武装組織の脅威にさらされているウガンダ北部の難民キャンプで生きる子供たちの姿を捉えたドキュメンタリー。村を焼かれ、家族を失い、極度の逆境の中で生きながらも、音楽を通じて生きる希望を見出そうとする子供たち。過酷な現実と、音楽の持つ力、そして子供たちの前向きなエネルギーが観る者の胸を打つ一作。

平和 命の尊さ

戦争の風化が叫ばれる

平和な世界を目指すため、決して忘れてはいけない。

文部科学省特別選定作品

黄色い星の子供たち



監督／ローズ・ボッシュ／2時間5分
出演／メラニー・ロラン ジャン・レノ
公開：11年7月／フランス・ドイツ・ハンガリー

約束して、必ず生き抜く

1942年、フランス政府によって行われたユダヤ人一斉検挙「ヴェル・ディヴ事件」を、過酷な運命に翻弄された子どもたちの視点から描いた真実の物語。同事件の全ぼうを、一斉検挙された子どもたちの中で生き残った数少ない人物の証言などを基に、元ジャーナリストのローズ・ボッシュ監督があまり出す。

文部科学省選定作品

父と暮せば



監督／黒木和雄 原作／井上ひさし
出演／宮沢りえ 原田芳雄 浅野忠信
公開：04年7月／日本／1時間39分

おとつたん、 ありがとうございました。

広島原爆投下から3年、生き残った後ろめたさから幸せになることを拒否し、苦悩の日々を送る美津江。突如幽霊となって現れた父・竹造に励まされ、悲しみを乗り越え、未来に目を向けるまでの4日間の物語。原爆の悲劇を描きながらも暖かい笑いがあり、広島弁の父娘の会話には心が和む。「最悪の状況下でも、人間は常に未来を見ている」、原作者・井上ひさしの思いが描かれた秀作。

文部科学省選定作品

紙屋悦子の青春



監督／黒木和雄 原作／松田正隆
出演／原田知世 永瀬正敏 松岡俊介
公開：06年8月／日本／1時間53分

あいつの分も私はあなたの 事ば大事にせんばい かんとです。

終戦間近の鹿児島県の田舎町。咲き誇る桜の樹の下で、2人の若者が美しく純朴な娘悦子に恋をし、娘もまた初めてのときめきに胸を焦がす。しかし、戦争の業火は若い命を呑込み、生き残った者の心にも生涯消えることのない傷跡を刻み込む。戦争の記憶の風化が叫ばれる今、前代を生きる人々に戦争の不条理と忘れてはならない記憶を問ひかける作品。

エイジアン・ブルー 浮島丸サコン



監督／堀川弘通
出演／藤本喜久子 益岡徹 佐藤慶
公開：95年9月／日本／1時間51分

いったい何があったのですか。 いまま、海は青く、深く…

戦後50年たった京都。大学生の優子は、『浮島丸事件』についてのレポートを講師の林に提出したが、それが思わぬことに繋がった。姉妹は、父である反戦詩人・伯雲の足跡を辿るため下北へと向かう。敗戦直後多くの朝鮮人を乗せて帰国途中、舞鶴湾で謎の爆沈をとげた『浮島丸事件』の事実をもとに描く。

GAMA 月桃の花



監督／大澤豊
出演／朝霧舞 川平慈英 平良とみ
公開：96年8月／日本／1時間50分

日本唯一の地上戦が 行われた場所—沖縄—

戦後50周年の沖縄。海辺の村で琉舞を教えながら幼稚園長を務める宮里房のもとに、突然アメリカから孫のジョージが訪ねてきた。真実を知りたがるジョージに、房は、長い間胸に秘めたままの、摩文仁岬の洞窟での出来事を静かに語り始めた。

悲惨な沖縄戦と洞窟(ガマ)での過酷な運命を克明に映し出す。

文部科学省選定作品

ひめゆり



監督／柴田昌平
出演／ひめゆり学徒の生存者22人
公開：07年3月／日本／2時間10分

「忘れたいこと」を 話してくれてありがとう

第2次世界大戦末期、住民を巻き込んだ地上戦が展開された沖縄。「ひめゆり学徒隊」として15～19歳の女学生たちも戦場に動員され、献身的な看護活動の末多くが命を落とした。13年間にわたって生存者22人の言葉を丹念に紡いだドキュメンタリー。今に生きる私たちに多くの示唆と希望を与えてくれる。

沖縄戦とひめゆり学徒隊のパネル展示も可